

科目名	生活指導論 A, B	形態	講義	開講期	春・秋
担当教員	小泉 孝	単位	2	年次	3

＝授業科目の目標＝

「生活指導」とは「教師が生徒を管理すること」ではなく、「子どもたち一人一人の発達を保障し、子どもたちの共同・自立の精神をはぐくむこと」を目標としています。そのため、子どもたちと教師との「生き生きとした深い人間的交わり」が最も大切なのです。本授業では、豊かな「生活指導」を実践するために必要とされる教師の基本的知識と力量（話すこと、書くこと、計画することなど）を身につけるため、具体的な課題の下で研究調査・発表・討論の活動に取り組みます。また、その過程を通して「子どもの『生活』を『指導』するとはどういうことなのか」について深く考えることを授業の目標としています。

＝履修の条件と学習の方法＝

この授業は、研究調査・発表・討論形式で行ないます。そのため事前に個別準備が必要となります。個別準備を含め、課題に主体的に取り組める姿勢が履修条件です。主体的に取り組めば、自分自身の中で「何か」が変わります。その変化を楽しみましょう。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：授業の目的と進め方、「生活指導提要」の概要
- 2回 「グループ発表・討論」のテーマ決定：意見交換とグループ編成
- 3回 「グループ発表・討論」の授業案作成：全体の流れと各自の分担決定
- 4回 「インターネット・携帯電話にかかわる課題」：現状、原因と対策
- 5回 「命の教育と自殺の防止」を考える：命の教育の意義、自殺の危険因子と対応
- 6回 「家出」を考える：現状と対応策 家庭と学校との連携①
- 7回 「発達に関する課題と対応」を考える：現状と対応策、家庭と学校との連携②
- 8回 「いじめ」を考える①：現状、いじめの四層構造
- 9回 「いじめ」を考える②：日本のいじめ対策と世界各国のいじめ対策
- 10回 「暴力行為」を考える：他者への暴力と自己への暴力 思春期の留意点
- 11回 「性に関する課題」を考える：性をめぐる現状と課題 「性」と「生」の総合学習
- 12回 「喫煙、飲酒、薬物乱用」を考える：薬物の種類と現状 学校での指導のあり方
- 13回 「不登校」を考える：現状と課題 原因と対策
- 14回 「校則」を考える：校則の必要性和問題点 世界各国の校則
- 15回 「児童虐待への対応」を考える まとめ：生活指導の課題と教師の役割

＝成績評価の方法と評価の基準＝

成績評価は、以下の(1)～(2)の総合評価です。

- (1) グループ発表・討論・・・各自の関心のあるテーマを設定し、同じ関心を持つメンバーでグループをつくり発表・討論する。
- (2) 授業レポート……………毎回、授業の流れ・ポイントをメモし、自分の意見・考察・補足説明を書いて提出する。

＝テキスト（必携）＝

必要に応じてプリント資料を配布します。